Creative Enzymes®

グリコーゲニン グルコシルトランスフェラーゼ

Cat. No. EXWM-2412

Lot. No. (See product label)

はじめに

□明	この酵素の最初の反□は、通常、タンパク質のTyr-194が自由である場合に、自己グルコシル化を触媒することです。Tyr-194がThrまたはPheに置き換えられると、酵素のMn2+-依存性自己グルコシル化活性は失われますが、分子間トランスグルコシル化能力は残ります。既存のグルコシル基をグルコシル化し続け、約5□13残基の長さが形成されるまで続きます。グリコーゲン鎖のさらなる延長は、EC 2.4.1.11、グリコーゲン（デンプン）シンターゼによって行われます。この酵素はドナーに□して高い特異性を持たず、UDP-グルコースに加えてUDP-キシロースを使用します（ただし、追加されたキシロシル基をグルコシル化またはキシロシル化することはありません）。また、CDP-グルコースやTDP-グルコースも使用できますが、ADP-グルコースやGDP-グルコースは使用できません。同□に、受容体に□しても高い特異性を持たず、水（すなわちUDP-グルコースの加水分解）などを使用します。さまざまな形態の酵素が存在し、異なる形態が異なる臓器で優勢です。したがって、□長類の肝臓には分子量66 kDaのグリコーゲニン-2が含まれていますが、より広く分布している形態は分子量38 kDaのグリコーゲニン-1です。
別名	グリコーゲニン; プライミンググルコシルトランスフェラーゼ; UDP-グルコース:グリコーゲニングルコシルトランスフェラーゼ

製品情報

形態	液体または凍結乾燥粉末
EC番号	EC 2.4.1.186
CAS登□番号	117590-73-5
反□	UDP-α-D-グルコース + グリコーゲニン = UDP + α-D-グルコシルグリコーゲニン
備考	このアイテムはカスタム生産が必要で、リードタイムは5□9週間です。ご要望に□じてカスタム生産が可能です。

保管・発送情報

保存方法	短期間は +4 ℃ で保管してください。長期間保管する場合は -20 ℃~-80 ℃ で保管してください。